

平成21年度 建設技術研究開発助成制度 研究課題の公募

基礎・応用研究開発公募

実用化研究開発公募

政策課題解決型技術開発公募

公募対象

1. 基礎・応用研究開発公募

建設以外の他分野を含めた広範な学際領域との連携を積極的に行い、将来（概ね10年後の実用化を想定）、実社会での波及効果の大きい研究開発課題に対する公募。

2. 実用化研究開発公募

地域のニーズ等に応じた実用化に近い（概ね5年後の実用化を想定）技術研究開発のテーマに対して、地域の産学官連携等により研究開発を推進する課題に対する公募。

3. 政策課題解決型技術開発公募

国土交通省が定めた具体的な推進テーマに対して、迅速に（概ね2～3年後の実用化を想定）成果を社会に還元させることを目的とした政策課題解決型（トップダウン型）の公募。

公募区分

基礎・応用研究開発公募の公募区分			
公募区分	初年度申請限度額	総額	最大交付可能期間
基礎・応用(Aタイプ)公募	—	50,000千円まで	3年間
基礎・応用(Bタイプ)公募	10,000千円未満	20,000千円まで	3年間
実用化研究開発公募の公募区分			
公募区分	初年度申請限度額	総額	最大交付可能期間
実用化公募	—	20,000千円まで	2年間
政策課題解決型技術開発公募の公募区分			
公募区分	初年度申請限度額	総額	最大交付可能期間
政策課題解決型	—	35,000千円まで	2年間

公募期間

平成21年

- ・基礎・応用研究開発公募
- ・実用化研究開発公募
- ・政策課題解決型技術開発公募

1月21日(水)
▼
3月6日(金)

応募資格

- ① 大学等の研究機関の研究者
- ② 研究を目的とする公益法人または所属する研究者
- ③ 国土交通大臣が適当と認める法人または所属する研究者

※民間企業等または当該法人に所属する者は③として申請が可能

応募方法

府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による応募を基本としております。やむを得ない場合には書面による提出(郵送)も受け付けます。

- ・府省共通研究開発管理システム(e-Rad)
<http://www.e-rad.go.jp/index.html>
 - ・国土交通省技術調査課(建設技術研究開発)
<http://www.mlit.go.jp/tec/gijutu/kaihatu/josei.html>
- 提出先：〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術研究助成制度公募係



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

基礎・応用研究開発公募課題

安全・安心な社会に向けて

課題番号 1、「災害時への備えが万全な防災先進社会」の実現

課題番号 2、「濁水等による被害のない持続的発展が可能な水活用社会」の実現

課題番号 3、「復旧時間を大幅に短縮し国土・都市の機能喪失と経済の損失のない社会」の実現

テロ・犯罪の予防・被害軽減

課題番号 4、「世界一安全でインテリジェントな道路交通社会」の実現

課題番号 5、「犯罪等に強い街」の実現

誰もが生き生きと暮らせる社会に向けて

課題番号 6、「ユニバーサル社会」の実現

課題番号 7、「地域公共交通の活性化・再生による活力ある地域」の実現

課題番号 8、「多様な住まいやライフスタイルを可能とする社会」の実現

国際競争力を支える活力ある社会に向けて

課題番号 9、「住宅・社会資本の整備・管理が効率化、高度化された社会」の実現

課題番号 10、「世界一の省エネ、低公害、循環型社会」の実現

環境と調和した社会に向けて

課題番号 11、「日本の四季を実感できる美しく快適な都市」の実現

課題番号 12、「健全な水循環と生態系を保全する自然共生型社会」の実現

課題番号 13、「気候・環境の変化に強い社会」の実現

実用化研究開発公募課題

設定分野

1 ICTを活用した調査、設計、施工 または、監督・検査に関する研究開発

〈具体事例〉3次元CADに関する調査・設計に関する技術開発、情報化施工などの施工に関する技術開発、ICタグなどを活用した資材調達・現場管理などの現場管理に関する技術開発、情報化技術を活用した非破壊検査や施工全体を検査する技術開発など。

設定分野

2 社会資本の維持管理の効率化に 関する研究開発

〈具体事例〉予防保全の概念を取り入れた社会資本維持管理の技術開発、社会資本の長寿命化に関する技術開発、社会資本の点検・健全度評価・劣化予測に関する技術開発など。

政策課題解決型技術開発公募 政策課題

政策課題
テーマ

1 (調査・計画、設計、施工、維持管理間のデータをつなげる) 建設生産システムの生産性の向上に 関する技術開発

- ①設計段階から施工段階までを図面データにより結びつけるための技術開発
(例)・設計段階の3次元CADデータを施工計画や機械施工に活用するための汎用的なデータ変換技術
- ・3次元CADデータを用い、施工実施状況を自動確認できる技術
 - ・3次元CADデータを元に合理的な施工計画を作成・マネジメントする技術
- ②施工段階における監督・検査の出来形の自動確認に関する技術開発
(例)・自動測定データや計測画像等の現場データの自動取得による全数確認・自動検査技術
- ・GPSやTSを用いて計測された構造物の出来形データを活用して効率的な維持管理を行うための技術

政策課題
テーマ

2 社会資本の戦略的維持管理に 関する技術開発

- ①構造物の健全度評価・劣化診断評価手法に関する技術開発
(例)・構造物の損傷・劣化状況を簡易かつ効率的に把握するための計測・点検技術
- ②既存構造物の長寿命化を達成するための補修工法の技術開発
(例)・損傷・劣化した構造物を簡易かつ効率的に補修できる施工技術
- ・損傷・劣化した構造物に関する延命効果の大きい補修技術